

議決権行使レポート

証券コード 6412

会社名 株主会社平和

	賛成	反対	棄権
剰余金の処分の件	○		

上記の推奨をした理由

配当方針として、当社のHPでは「当社は、企業価値の増大を図りながら、株主の皆様へ利益還元を図ることを経営の最重要課題と考えております。具体的には事業計画、財政状態、経営成績、配当性向及び純資産配当率等を総合的に勘案し、安定配当を行うことを基本方針としております」と記されている。

まず、業績から見ると、

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
売上高(百万円)	144,573	107,744	121,558	142,290
営業利益(百万円)	233,551	5,311	10,235	26,905

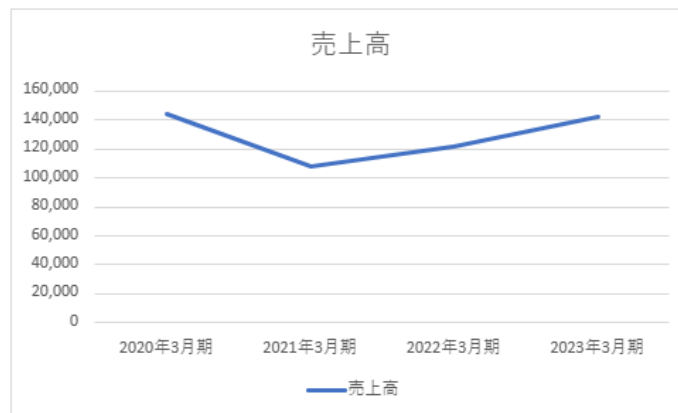


図 1

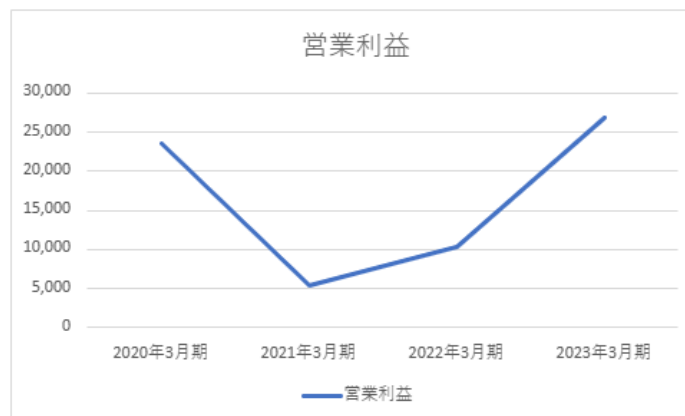


図 2

図 1, 2 が示されているように、当社の売上高と営業利益は 2021 年に大きく下落したが、最近の 2 年間は著しく伸びた。売上高は前年比+207 億 3200 万円、営業利益も倍増し、166 億 7000 万円の増加が記録されており、当期の業績は大幅に良くなっている。これは、当社が東京証券取引所でプライム市場に移行したことが要因だと考えられる。また、当社はゴルフの事業もしており、2022 年にジャパングolf ツアー トーナメント「HEIWA・PGM CHAMPIONSHIP」が 3 年ぶりに開催されたということも業績の好調と深く関連していると思われる。

次に、配当性向と 1 株当たり当期純利益に注目する。

当期の配当性向が 38.1% になっており、前年度と比べて大幅に減少し、過去 4 年のうち最小となっている。2021 年以来、連続の 3 年間で下落が生じた。1 株当たり当期純利益の数値が最近の 3 年で増加しているにもかかわらず（図 3）、1 株当たりの配当額を下げているということになりうる。

	2020 年 3 月期	2021 年 3 月期	2022 年 3 月期	2023 年 3 月期
配当性向(%)	49.7	912.1	359.7	38.1
1 株当たり当期純利益(円)	160.92	8.77	22.24	209.72



図 3

当社が生産、販売しているゲーム機に対する需要はコロナパンデミックでの移動制限によって増加していたが、現在の社会はどんどんコロナウイルスの打撃から抜け出しているため、消費者を吸引するために、または、同業企業との競争で勝つために、より品質が高いゲーム機を開発することが必要である。また、パンデミック前の社会に戻ったら、ゴルフなどのアウトドア活動もどんどん復活していくと予想されるため、剰余金を貯め込む必要性はなく、事業投資

に回すべきだと考えられる。ゆえに、この議案を賛成する。

参考文献

株主会社平和HP

<https://www.heiwanet.co.jp/>

株主会社平和2023年定時株主総会招集通知

<https://www2.jpx.co.jp/disc/64120/140120230529586579.pdf>

株主会社平和2023年3月期 決算短信

https://irvision2next.blob.core.windows.net/6412/ir/12517183965399999999_ef44ce21-36c8-4205-ae9d-96bad3e6eab9.pdf